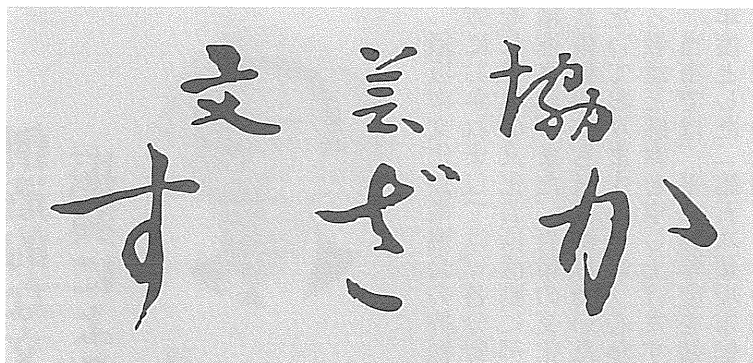




第 37 号

発行所

須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町7-4-7

須坂市中央公民館内

TEL(026)245-1598 FAX(026)246-3906

印刷所：ヒタキ印刷株式会社



須坂かすみ会



新年交流会セミナー



成山吟道会



文化はすばらしい

須坂市文化芸術協会会長 南澤汎山

昨今、世界の異常気象は各地で悲惨な災害をもたらし、人類が自ら招いた地球温暖化、エルニーニョ現象など、自然の猛威の前には、なすすべもありません。

さて、百花が咲き乱れる須坂の春。桜百選でもある名所、臥竜公園では、平年より六日早く、二年連続で池開きと同じ四月四日に開花、九日には満開となりました。二十四種類、六〇〇本の桜、竜ヶ池の周りが植えられており、それは見事な情景です。皆さんもお花見に行かれたと思いますか？。

春は木々の芽吹きを楽しみ、夏は涼しい風を受け、秋は紅葉を楽しみ、冬は雪景色に酔いしれ、日本の四季、自然の移り変わりを身体一杯感じる、こんなあたり前の事が本当に幸せなことだと強く感じるようになった。所で、文化でメシは食えないとも言われますが、何

をやるにも根底には文化があり、日々の生活を離れては文化はない。「毎日つくる事を忘れない人は決して老化しない」とある方が言っておられました。文化はつくる、人間毎日何かをつくっている、生きてこそつくれる、これが文化だと思います。誰かが何かをやってくれるのを待つのではなく、自分が汗をかく、そして他人の意見を素直に聞き、自分を向上し続ける事。若い人の学ぶ力、吸収する勢いは、スポンジが水を吸い込むように素晴らしい。「豊かな心」「確かな学力」「健やかな身体」を育み、「明日に夢をもてる環境づくり」、それが我々大人の責務と強く思います。

終りに、協会へのご支援・ご指導を仰ぎ、文化・芸術の重要性を痛感し、人づくり・町づくりの愛と心と感謝でこれからも貢献してまいります。

創造的な文化芸術の 振興による人づくり



須坂市長 三木 正夫

須坂市文化芸術協会の皆様方におかれましては、各分野それぞれの文化芸術活動に御精進され、また、当市の文化芸術振興にも日夜御尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。当市では、平成23年度を初年度とした「第五次須坂市総合計画」の後期5カ年の基本計画を、昨年度策定いたしました。

「二人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」、そして、健康長寿発信都市『須坂JAPAN』の実現に向けて、これからのまちづくりを進めてまいります。

さて、後期基本計画の基本目標の一つである「多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり」とは、「創造的な人々が住み、一人ひとりが持つ文化的資源を持ち寄り、人々がまちの文化を育て、まちの多様な文化が人を育て、市民の皆さんにとつて誇りとなる『まちとしての価値』をさらに高め、個々で学んだことを地域づくりにいかすための還元を通じ、市民のみなさんが交流することでお互いを尊重しあえる『まちづくり』のことであります。

また、平成23年に策定しました「須坂市文化芸術振興ビジョン」では、当市発展の基盤に「須坂の文化、風土」があることから、評価や新たな創造を繰り返し、文化芸術を核とした「持続可能なすざか」を目指しております。

須坂市文化芸術協会の会員の皆様方におかれましては、日頃の活動の実践により、文化とスポーツなど他分野との連携を進めながら、共創の精神により「須坂文化の振興」「人づくり」といった推進施策を、今後も共に進めていただきますよう、さらなる御協力をお願い申し上げます。



すみさか民謡会



柏謳会



花房花扇会

平成27年度
第53回
市民文化祭
から



昊翔流吟道会



裏千家



展示風景

第6回 こどもわくわくフェスティバル 2015.12.19



展示風景



成山吟道会



正派雅尚会



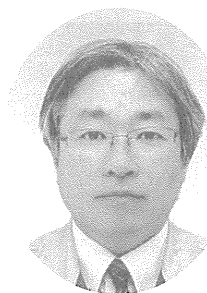
篠塚麗比フラスクール



藤勢津会

文化芸術の振興を共に進めましょう

須坂市中央公民館長 田中賢一



須坂市文化芸術協会会員の皆様におかれましては、日頃から公民館活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

文化芸術活動は、人間が充実した素晴らしい人生を送るために、欠くべからざるものであり、大変身近なものでもあります。

「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が文化芸術活動に参加できる機会提供の場として、須坂市文化芸術協会様と中央公民館が連携して開催する文化芸術講座も、今年で8年目を迎えます。文化芸術協会会員の皆様に講師をお願いし、親切で熱心な御指導により、修了後も公民館等でサークルを創るなど、活動を継続されている講座参加者がありますことに、心から感謝申し上げます。

市民の多くの方が、素晴らしい伝統文化や芸術に触れ、

学び、親しむことで、文化芸術に対する意識が高まり、その地域の力が蓄えられ、地域が活性化いたします。今後引き続き、文化芸術分野のみにとどまらず、スポーツなど他分野の団体とも交流、連携などを通して、活動や運営方法の良い点を参考にされながら、皆様の活動や運営に反映されることにも、公民館などとの連携を強めて文化芸術の振興を進めていただければと思います。結びに、南澤汎山会長様をはじめ、須坂市文化芸術協会会員の皆様方の、今後益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。

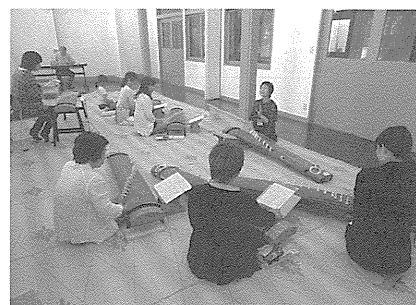
文化芸術講座のご紹介



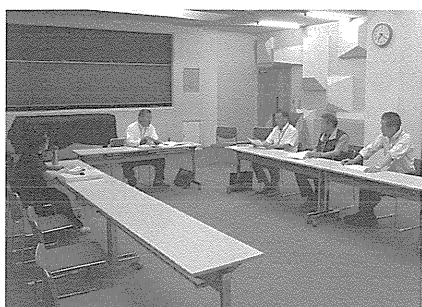
いけばな講座



気軽に楽しめる日本舞踊講座



初心者箏講座



消防木遣講座



楽しいハーモニカ講座



さわやか謡曲講座（観世流）

第54回 須坂市民文化祭

芸能祭

10月30日(日)
メセナ大ホール

展示会

10月29日(土)・30日(日)
メセナ小ホール

茶席

10月23日(日)
中央公民館・しらふじ

謡曲会

10月23日(日)
中央公民館

音楽会

10月10日(月・祭)
メセナ小ホール

新加入団体

音楽

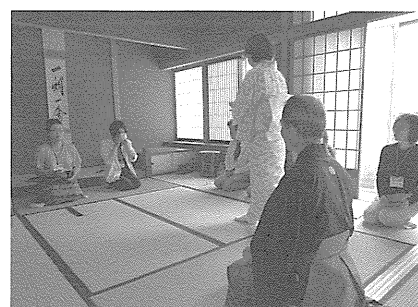
小野寺晴山民謡会

代表 近藤 晴 菊

芸能

藤 洋 会

代表 藤 間 千 洋

よろしく
お願いいたします

茶席マナー講座

文芸協と私

①

日本舞踊をはじめて

花柳葉緑社中 近藤和奏



幼稚園で少し教わったのがきっかけで、小学校に入ってから、ちゃんと教えてもらいうようになりました。覚えるのは大変だけど、新しい踊りを教えてもらうのは、楽しいです。発表する時には、その踊りにあわせた衣装を着せてもらうのも、うれしいです。今まで教わった中で楽しかった踊りは、『越後獅子』で、上手に踊れたと思

うのは、『元禄花見踊』です。どの踊りも細かい動きを覚えるのは、むずかしいです。自分では、できるようにになったと思っても、先生のようにには、なかなかできません。少しでも、先生のように踊れるように、これから練習をがんばって、たくさんの人に拍手をもらえような、踊りをしたいです。

文芸協と私

②

四十周年記念 北陸路、謡曲の旅

一謳会 宮澤繁美

会が発足以来、文芸協の現相談役の金子利一先生に師事し、二十周年、三十周年と節目には記念の謡曲会を行って参りました。平成二十七年の四十周年には、北陸新幹線開業に伴い、安宅の関を中心に記念旅行を致しました。俱利伽羅峠、護国八幡宮、実盛塚、首洗いの池、安宅の関と謡曲に謳われている所を見学し、特に安宅の関跡では、義経、弁慶(智、勇)、関守の富樫(仁)の三体の像の前では、謡曲「安宅」の独吟(勧進帳)を謳い、一生涯忘れえぬ思い出になりました。

ホテルで先生を中心に会員相互の親睦を図り、宴席で大いに思



い出を語りました。翌日は兼六園を散策し、近江町市場等を回り、金沢の珍味に舌づつみを打ち、帰路につきました。北陸新幹線「かがやき号」で長野に戻りました。楽しい思い出のページを作ることが出来ました。これからも大いに勉強し、謡曲に励みたいと思います。

文芸協と私

③

懐かしい童謡唱歌…

ミスターハーモニー 田中邦教

私たちミスターハーモニーは、ハーモニカと言う楽器を通じて交流した音楽仲間の集まりです。現在、ピアノストを交え4名での活動をしています。それぞれの活動とグループとしての活動を織り交ぜながら、人生に潤いある日常と生きがいとを求め日々頑張っております。

日ごろは定例の市民演奏会への出演に伴って、だんだん演奏レパートリーも増え色いろなジャンルの中、むかし懐かしい童謡唱歌、演歌、ジャズ、ラテン等に挑戦し自分自身も楽しみながらの活動をしております。



昨年は、定例の上高井郡役所での市民演奏会を初め、夏の須坂クラシック美術館での夕涼みコンサート、飯綱高原力フェ中寿美でのレストラン演奏会、東横町老人会でのコンサート、久石譲作曲の曲目演奏会への参加ウオーラムハーツ主催のク

皆様の更なるご支援を宜しくお願い致します。

文芸協と私

④

文化芸術講座を担当して

小原流 宮崎 さと子

伝統文化を継承し、

市民の生涯学習の充実を目的に、文芸協と中央公民館が連携した「文化芸術講座」を、平成26年度に「花にふれよう」で担当した。当初は諸流の先生方が一緒に、生徒の皆さんは毎回異った諸流の先生の指導で戸惑いがあつたと思う。また先生方も自分の流派の技術を思うように伝えられず不都合もあつた。そこで平成26年度から一流派が一年間担当することになった。公民館の募集と知り合いへの声掛けで6名から始まった。昔花嫁修業でいけばなを習ったことのある年配の方は、気持ちも新たに楽しんでくだされた。初めての若い方からは「日本の節目の行事にはどんな花をどんなふうにいけるのか」など質問もあつた。



それらに対応しながら7回の講座は終了した。受講者から「これで終ってはさみしいから、公民館のサークルとして続けてほしい」ということで、現在は月一回のペースで開催している。

2年を過ぎようとしているが現在は10名の生徒さんと続けているいけばなが身近なものに感じていただけているよう指導していきたい。

文芸協と私

⑤

お茶を楽しんで!!

表千家 上野 章子

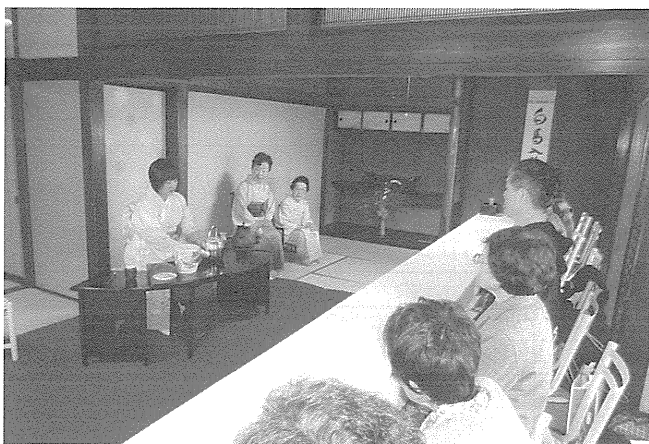
「お菓子おいしかった」「この花の名前は?」「金魚葉椿です」

私達の娘時代のお茶のお稽古には、若い方々が沢山見えて花が咲いたような雰囲気でした。しかし近年若い人の姿が少なくなり、日本古来の伝統文化の衰退が心配されております。

このご時世でしようか。

若い方々は生活する事に精一杯なのではないかと推察します。

日本の伝統的な習い事には、礼節を重んじて精神の向上を計る目的が含まれます。特に茶道

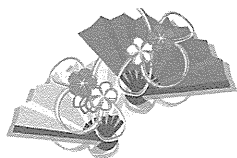


では所作の他、花道、書道、香道等々、真に様々な教養が会得出来る素晴らしいお稽古事と自負しております。

人は誰れも目標を持ってこそやる気が起きるしやはり合も湧いて来るものと今、九十に手が届く歳になつてつくづく、味わえる様になりました。秋に行なわれる芸能発表大会は舞踊にダンスにと素人とは思えないステージを楽しく拝見して居ります。

私達の発表する剣詩舞は「日本の伝統芸能吟剣詩舞道」の名の基に、地味で大勢の前で発表するには一寸素朴かなと反省も有ります。一方では、足も体も思うにまかせぬ程の晩年の歳でも、思い切り呼吸を使って発声出来る詩吟で良かったと思う昨今です。

須坂市民文化祭の盛



文芸協と私

⑥

秋の文化祭に寄せて

聖風流須坂地区吟道会 篠塚 紅洲

大に行なわれる事を願う一人として、何時も残念に思う事は、個々のステージを努めれば、早々荷物まとめをして帰って行かれる姿を往々にして目にする事です。それぞれ事情はお有りとは思いますが、人様のもの、応援して、最後まで会場が賑やかで盛大な交流発表の場であつて欲しい。……「禮と節」の教えを思い起して私自身反省をしながら、書きました。

平成27年度須坂市文化芸術協会決算書

平成28年度須坂市文化芸術協会予算書

収入金額	1,260,145円
支出金額	1,232,145円
差引残高	28,000円(次年度繰越金)

収入金額	960,000円
支出金額	960,000円
差引残高	0円

収入の部 単位・円

科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
前年度繰越金	22,021	22,021	0	前年度から
会 費	472,500	780,100	307,600	46団体×3,000 628人×500 子どもわくわくフェスティバル その他
補 助 金	450,000	450,000	0	須坂市より
雑 収 入	29	8,024	7,995	利息24 ご祝儀等8,000
合 計	944,550	1,260,145	315,595	

収入の部 単位・円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	28,000	22,021	5,979	前年度より繰越
会 費	454,500	472,500	△ 18,000	45団体615人分、子どもわくわく会費他
補 助 金	450,000	450,000	0	須坂市より
雑 収 入	27,500	29	27,471	利息・祝儀等
合 計	960,000	944,550	15,450	

支出の部 単位・円

項 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
会 議 費	25,000	14,806	10,194	監査、三役会
渉 外 費	15,000	15,000	0	
普及活動費	35,000	45,360	△ 10,360	子どもわくわくフェスティバル 諸経費、連携講座講師謝金
負担金	55,000	75,500	△ 20,500	須高文化交流会
通信・事務費	30,000	34,188	△ 4,188	用紙、コピー、はがき等
事業費	780,000	1,047,291	△ 267,291	文化祭、その他
内 名簿・会報	74,000	73,440	560	
内 広告	100,000	85,000	15,000	
内 フォト・ポスター	180,000	182,025	△ 2,025	
内 謡曲部	34,000	34,000	0	
内 音楽部	67,000	67,000	0	
内 芸能部	233,000	233,000	0	
内 展示部	66,000	66,000	0	
内 茶席部	26,000	26,000	0	
内 その他事業	0	280,826	△ 280,826	新年交流会等
予 備 費	4,550	0	4,550	
合 計	944,550	1,232,145	△ 287,595	

支出の部 単位・円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 議 費	20,000	25,000	△ 5,000	監査、三役会
渉 外 費	15,000	15,000	0	
普及活動費	45,000	35,000	10,000	子どもわくわくフェ スティバル、連携講座
負担金	56,000	55,000	1,000	須高文化交流会
通信・事務費	30,000	30,000	0	用紙、コピー、はがき等
事業費	789,000	780,000	9,000	文化祭、その他
内 名簿・会報	74,000	74,000	0	
内 広 告	87,500	100,000	△ 12,500	
内 フォト・ポスター	185,000	180,000	5,000	
内 謡 曲 部	34,500	34,000	500	
内 音 楽 部	72,000	67,000	5,000	
内 芸 能 部	247,500	233,000	14,500	
内 展 示 部	66,500	66,000	500	
内 茶 席 部	22,000	26,000	△ 4,000	個人会費含む
予 備 費	5,000	4,550	450	
合 計	960,000	944,550	15,450	

基金(別途積立金) 20,000円

平成28年度須坂市文化芸術協会事業計画

期 日	事 業	内 容	場 所
4月5日(火)	定期理事会	決算報告・事業計画など	中央公民館
4月19日(火)	第1回会報編集委員会	発行までのスケジュール確認	中央公民館
4月23日(土)	連携講座の開始	ハーモニカ教室ほか7講座	中央公民館
5月9日(火)	第2回会報編集委員会	割り付け会議	中央公民館
5月24日(火)	第1回常任理事会	第1回理事会付託議案審議	中央公民館
6月7日(火)	第1回理事会	遊芸フェア・行政懇談会・予算ほか	中央公民館
6月12日(日) ～19日(日)	文化・芸術 遊芸フェア	音楽芸能発表・ 生け花ほか展示	湯つ蔵んど
7月16日(土)	須坂まつり	芸能部参加	駅前通りほか
7月30日(土)	行政懇談会	行政側との意見交換会	シルキー
9月	第2回常任理事会	第2回理事会付託議案審議	中央公民館
9月	第2回理事会	市民文化祭・歴史文化散策ほか	中央公民館
10月10日(祝)	第54回市民文化祭	音楽祭	メセナホール(小)
10月23日(日)		謡曲会	中央公民館
10月23日(日)		茶席	中央公民館・しらふじ
10月29日(土) ～30日(日)		展示会	メセナホール(小)
10月30日(日)		芸能祭	メセナホール(大)
11月	歴史文化散策	市内史跡・文化財など見学	市内
12月11日(日)	子どもわくわくフェスティバル	子供達の舞台発表と展示会	メセナホール(小)
平成29年			
1月	文芸協新年交流会		中央公民館
2月	須高文化交流会	小布施・高山・須坂	高山村
3月	会計監査	28年度事業・収支監査	中央公民館

編集後記
26・27年度は、謡曲部に音楽部のコラボで文化祭に参加。同じ文芸協に属していても、各部門間の交流が少ない昨今、互に相手の立



場・状況を知りえた事は大収穫。(市川)

市川 捷雄・北原 勲
北島 汎詠・小泉 美子
上野 千与子・永田 郁子
高坂 恵美子・村石 志
藤田 健一